

# JIS

## アルミニウム表面処理用語

JIS H 0201 : 1998

(2004 確認)

(2008 確認)

平成 10 年 11 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、JIS H 0201 : 1987は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正では、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成、及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案への提案を容易にするために、ISO 7583 : 1986, Anodizing of aluminium and its alloys—Vocabularyを元に国際整合化を図った。

---

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 45.10.1 改正：平成 10.11.20

官報公示：平成 10.11.20

原案作成協力者：社団法人 軽金属製品協会

審議部会：日本工業標準調査会 非鉄金属部会（部会長 神尾 彰彦）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料機械規格課（☎100-8921 東京都千代田区霞が関 1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## アルミニウム表面処理用語

H 0201 : 1998

## Glossary of terms used in the surface treatment of aluminium

**序文** この規格は、1986年に第1版として発行されたISO 7583, Anodizing of aluminium and its alloys—Vocabularyが対応国際規格としてあり、対応する部分(陽極酸化処理用語)については、技術的内容は同等であるが、対応国際規格に規定のない化成処理、関連表面処理(塗装、めっき、ほうろう、溶射)などについて追加規定している。

**1. 適用範囲** この規格は、アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化処理及び化成処理に関する主な用語及び定義について規定する。

**備考** この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 7583 : 1986 Anodizing of aluminium and its alloys—Vocabulary

**2. 分類** アルミニウム表面処理用語は、次の8部門に分類する。

- a) 一般
- b) 処理剤(材)・設備器具
- c) 前処理
- d) 陽極酸化処理(染色、封孔、排水処理)
- e) 化成処理
- f) 関連表面処理(塗装、めっき、ほうろう、溶射)
- g) 性質・欠陥
- h) 検査・試験

**3. 定義** 用語及び定義は、次による。

なお、参考のために対応する英語を示す。

a) 一般

番号	用語	定義	参考
			対応英語
101	陽極酸化	陽極処理によって電極表面において起こる酸化反応。	anodic oxidation
102	陽極酸化処理	陽極における電気化学的な酸化処理の総称。陽極処理ともいう。	anodizing, anodising
103	陽極酸化皮膜	陽極酸化処理によって生成した皮膜。	anodic oxide coating, anodic oxide film
104	アルマイト	陽極酸化皮膜、又は皮膜の施された製品の通称。 参考 登録商標(ALMITE)から由来した言葉。	anodic oxide coating
105	自然酸化	空气中で人工的に加速させることなく起こる酸化反応。	natural oxidation